

豊信報

平成29年 元旦号

天理教豊信分教会 吹田市泉町2-11-33

TEL 06-6388-6080

明けましておめでとうございます。

本年も天馬のように、飛翔する年でありますように。

芭蕉がこの句を詠んだのは延宝五年、三十四歳のとき。

立机、すなわち俳諧の宗匠として身を立て始めたころです。

正月、これまでのことをしみじみ思えば

三十年という長い年月が一夜のようだ、というのです。

私も今年、会長になって39年になります。。

長い道中のようにでしたが「思えば一夜」という芭蕉の気持ちがよく分かる気がします。

泣きもしました。笑いもしました。

もうダメだというときもあれば、

うれしくて時間が止まって欲しい時もありました。

しかし、一番大切なことは、

なんだかんだ言っても、今こうして居られることです。

このこと自体に実は深い親神様の思惑があるのです。

悩んでいる、苦しんでいる、そのこと自体が実は親神様の親心であることを忘れずに。

門松や 思えば一夜 三十年
松尾芭蕉



「教理：おやさまのお話」

当時の警察官

すると巡査は、戸主を呼べ、と言いました。ちょうど真之亮は奈良裁判所へ出掛けて留守でしたので、その旨を答えると、

「戸主が帰ったら、この本と手続書とを持参して警察へ出頭せよ、と申せ」と言って引き揚げて行きました。

帰ってこの事を聞いた真之亮は当惑しました。ここでおふでさきを持って行って没収でもされればそれまでだ、と気付いたのです。

そこで、おまさ等にも話して、どんな事があっても、この書きものを守り抜こうと決心しました。つまりその本はおまさ、おさとの二人が焼いたという事にして、手続書だけを持って、出頭したのです。

蒔村署長から、「鴻田の写していた本を持参したか」

と、問われたので、

「その本は、巡回の巡査が、“そのようなものは焼いてしまえ”と申し付けられましたから、私の不在中、留守番しておりました伯母おまさと、飯降おさとの両人で焼いてしまいました」と答えました。

すると署長の側にいた清水巡査が立ち上り、

「署長、家宅捜索に参りましょうか」

と言いました。真之亮は冷やっとなりました。けれども、

署長は、「それに及ばぬ」と言い、

続いて、「お前方に来ていた人は、何処の者で、何と言う人か」

と問いました。これに対して、「私は不在でしたので存じません」と答えると、

「自分の家に来ている人々を知らぬと申すは、不都合ではないか」と、真之亮をその夜留置しました。そして真之亮、おまさ、おさとは皆、それぞれ手続書をとられました。

手続書

一、昨廿四日午前十時頃当分署ヨリ御巡廻ニ相成候砌御見廻被下候際私宅工御立寄りニ相成参詣人有之趣ニ付手続書可差出旨御口達ニ依り有体奉申上候此義兼テ御差留有之二付断申居且又参詣之義ハ断ルノ書附等モ表口ニ張置有之候ニ付参詣人ハ決テ無御座候程テ御座候然ルニ私儀ハ本月廿三日ヨリ奈良裁判所工出頭仕居候留主中ニテ参詣人有無存シ不申候得共帰宅之处手続書差出可旨御達ノ趣承家内へ尋問候处全国式上郡檜垣村鴻田忠三郎ナル者天輪王命由来書披見致度等被申ルニ付見セ居候其節何国ノ者歟五六名程在来御座候得共見知ヌ者ニ有之候其際巡廻之御方ヨリ右天輪王ニ属スル書類ハ焼可捨様御達ニ依り私全居罷有候飯降伊蔵妻さんとナル者右忠三郎披見ノ書類即時焼捨申候義ニ御座候手続書ヲ以此段有体奉上申候也

明治十六年三月廿五日

山辺郡三嶋村

中山新治郎

丹波市分署御中 - 3 -



「おいしいという心」

八つのほこりで“おいしい”とは、なんでもおしむ心です。

私たちの身体は両手、両足で行きたいところや持ちたいものをどこへでも行って物をつかめます。

その身体をどう使うかによって、人の徳も違ってきます。

自分の子供にあめ玉をやって、隣の子供が来て、それを見て、親が隠して、その子供にやるのをおしがる人もいます。また、身体のおしみもそうです。

自分の好きなことはどんなに身体をこき使っても動くのに、はたの人には自分にとって徳にならないことは、身体を動かしません。

ご飯を食べたあと、お茶碗や皿を身体をおしむことなく、

台所に持って行けば、それは皆、その人の徳になります。

それ故に、身をおしむことは、神様にかなわないことになります。

このお道では“ひのきしん”という教えがあります。

なんの報酬も受けずに黙々と働いて、ありがとうございました。と言える人にならなければ、神様にかなわないのです。

金の出し惜しみ、身体の働きの惜しみ、これみな“おいしい”というほこりです。

ある教会では一人の信者さんが黙々と毎日、神殿掃除をしておられます。

上段はぴかぴかに光っています。

その上に立つと、するりとすべりそうになるほどです。

この信者さんが黙々と身体を神様にささげ、神殿のお掃除をした結果なのです。

身体をおしむことなく、奉仕の心を持っていれば、神様が受け取ってくださいます。

★ お知らせ

2月10日(金)豊信分教会月次祭

福知山分教会長 足立貴仁氏が巡教に来られます。

★ 報告

1月5日～7日まで教会本部でおせち(雑煮)が振る舞われました。

沢山の人で賑わいました。